

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の整備に関する有識者会議(第16回)

議事概要

令和8年1月20日(火) 10:00~12:00

於:中央合同庁舎2号館1階共用会議室3A・3B

- 前回に続き、事業費に影響を与えるリスクについて議論を行った。その際、今後の事業費の増加額について見通しを持つためには、事業費に影響を与えるリスクの発生度や影響度の見込み方が重要であることから、令和7年3月の本有識者会議報告書で示した工程に影響を与えるリスク評価とその後の工事進捗の中での実際のリスクの発現状況とを照合しながら、現時点で、どのように事業費に影響を与えるリスクを評価することが妥当かについて検証を行った。
- また、上記の議論の際に考慮すべき事柄として、事業費に影響を与えるリスクの中には、地質に関するリスクに代表されるとおり、トンネル工事の掘削完了や明かり工事の基礎工事の完了により、発現の可能性が低減するものが一定程度あること、また、令和8年度にかけてトンネル工事の掘削や明かり工事の基礎工事が相当程度進捗する見込みであることから、事業費の見込みの精度については、令和8年度にかけて有意に向上する見込みであることを確認した。
- 加えて、開業時期に影響を与えない範囲で事業費を縮減する方策についても検討を行った。どのような方策があり得るかについて引き続き検討を進める中で、工事の進捗を注視しながら、工程短縮策の中で実施を見送ることが可能なものがあるかについても見極める必要がある。
- 次回の会議においては、これまでの議論を踏まえて、論点整理を行う。

以上